

平成24年12月定例会 審議した議案とその結果

議案番号	議案第1号	議案第66号	議案第67号	議案第87号	議案第88号	議案第89号	議案第90号	議案第91号	議案第92号	議案第93号	議案第94号	議案第95号	議案第96号	議案第97号	議案第98号	議案第99号	議案第100号	議案第101号	議案第102号	議案第103号	議案第104号	議案第105号	議案第106号
審議結果	認定	可決及び認定	可決及び認定	承認	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決
議員名																							
1 横田 隼人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 松永 恭二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 多田 光廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 福部 正人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 内田 俊英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 藤田 伸二	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 加藤 正員	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 山本 直久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 小橋 清信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 浜西 和夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11 吉本 一幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 大前 誠治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 三宅 真弓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14 中谷真裕美	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15 尾崎淳一郎	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16 松浦 正武	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17 横川 重行	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 小野 健一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19 高木 新仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20 長友 安広	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21 三谷 節三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22 高木 康光	議長のため採決に参加せず																						
23 岡田 健悟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 国方 功夫	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25 片山 圭之	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26 三木 まり	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27 倉本 清一	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案の結果

議員が市の考えを問う

一般質問

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

横田 隼人

- ①新年度予算編成の考え方②市債等の財政状況③子育て支援策④組織機構の見直し

大前 誠治

- ①水道事業の広域化②いじめの現状と解決に向けた対応

加藤 正員

- ①綾歌森林公園の整備②義務付け・枠付けの見直し作業と県からの権限移譲の状況

小野 健一

- ①密集市街地での防災対策②住居表示実施地区における街区表示板③道徳教育

長友 安広

- ①耕作放棄地対策②鳥獣被害対策③新規就農者対策④桃の産地維持と振興

倉本 清一

- ①入札制度のあり方、問題点と改善策②高齢者の地域の拠

点づくり

松浦 正武

- ①交通事故の現状と安全対策②コミュニティバスの利用促進策③農業振興

片山 圭之

- ①産業振興計画の素案と関連する問題点

福部 正人

- ①土器川の堤防強化②公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業③市民後見人の活用内容と介護支援ボランティア制度④子育て支援策⑤自殺予防教育の実施とフィルタリングの普及促進⑥城内堀の噴水の稼働

尾崎淳一郎

- ①いじめ問題と社会が取り組むべき課題

横川 重行

- ①新年度予算編成の方針と健全な財政運営②給食の異物混入③

情報の危機管理④いじめの実態と解決に向けた対応

藤田 伸二

- ①学校給食委託業者の選定状況と習熟訓練②情報公開制度の適正な運用

三木 まり

- ①市所有のバスの運用と城内駐車場の時間延長②市内のすべての橋の総点検を③広域行政における情報保護の現状と課題

国方 功夫

- ①城の植栽計画の問題点②市営住宅の耐震状況と改築計画

内田 俊英

- ①子どもの遊び場の現状と市有地活用②公共施設のネットワーク③買い物支援補助の現状と方向性④県道交差点の渋滞・交通安全対策⑤国際ホームページで銭湯サービスを⑥2月24日を「青ノ山の日」に

中谷真裕美

- ①災害時要援護者の支援②地域防災活動の充実③学校施設の非構造部材の耐震化④公共施設に防災行政無線戸別受信機の配置を

一般質問

議会だよりは、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約して掲載しています。

市債実質負担

どの程度か

◎横田議員 今年度末の市債残高は470億円であるが、臨時財政対策債、合併特例債など市債の種類や交付税措置はどのようなか。

▲企画財政部長 市債の交付税措置とは、市債で借り入れた資金の返済費用の一部を国が地方交付税で保証、補填するものであり、一般的な地方債は20%程度、合併特例債は70%、緊急防災減災事業債は70%〜80%が交付税措置される。本市では積極的に活用し、安全・安心のまちづくりを進めている。また、臨時財政対策債は実質的な地方負担はない。

市債は種類によって定められた率で返済に当たる公債費の一部が地方交付税で手当てされる場合も多くあることから、借入

額がそのまま市の負担にはならず、交付税措置された残額が実質的な市の負担となる。

深刻ないじめ 連携して対応を

◎大前議員 深刻ないじめの解決には、教育委員会、警察、児童相談所、医療機関などとの連携が必要である。どのような連携を考えているか。

▲教育長 本市では毎月、少年育成センター主催の非行防止定例情報交換会を開催しており、メンバーは警察、中讃サポートセンター、西部子ども相談センター、高松家庭裁判所丸亀支部、学校教育課、中学校の生徒指導主事である。学校だけでは対応の難しい不登校や暴力行為などについても、関係機関との連携を図ることで、解決したケースも多くある。特に、丸亀警察署とは平成16年に丸亀市学校・警察相互連絡制度に関する協定を交わしている。

深刻ないじめは子どもの命にかかわる場合があるため、関係機関と連携を図り、早期解決に全力を挙げて取り組んでいる。

綾歌森林公園 企画運営は協働で

◎加藤議員 綾歌森林公園の登山マップ作成を契機に、今後はマップを活用した行事が行われるのだと思う。これらの企画運営は、市を含めた協働という形で行うのが良いのではないか。

▲都市整備部長 綾歌森林公園はこれまでにも地元のみなさんやボランティア、利用者のみなさんとの協働により、清掃や草刈りなどの維持管理や整備を進めてきた。これまでのワークショップに参加した市民のみなさん



市民参加のワークショップ

んから、ハード面では案内板の設置や休憩所の整備、ソフト面ではネイチャークラフトづくり教室や多目的研修棟での写真展など、魅力的な公園をつくるための様々な意見や提案をもらっている。今後は、綾歌森林公園の利活用についても、維持管理や整備だけでなく、イベントなどの企画運営についても、協働により取り組んでいきたい。

住居表示板は市の顔 きれいなものに

◎小野議員 住居表示実施後長年経過し、住居表示実施地区における大部分の街区表示板や住居表示板が劣化しているが、これらは今後どのように対処するのか。

▲生活環境部長 表示板の破損、落丁等については、市民から連絡があり次第、職員が早急に現地確認し、付け替えなどの対応をしている。劣化した表示板があれば、市民課まで連絡をお願いする。各戸に掲示されている住居番号表示板については、劣化や建て替えなどにより表示板の取り替えが生じた場合、申

し出により、新しい表示板を無料で渡して取り付けをお願いしている。

また、街区表示板の更新については、今後財政当局と調整を図るとともに、個人の塀に取り付けなければならぬ箇所もあるため、自治会やコミュニティと相談したい。



街区表示板

桃産地維持 今後の取り組みは

◎長友議員 飯南地区は県下最大の桃の産地だが、農家の高齢化や後継者不足により、栽培面積が減少傾向にある。今後、市場での有利性の確保や生産者の生産意欲の向上と安定した所得が得られるよう、産地維持の取り組みが必要ではないか。

▲産業文化部長 産地維持のため、品質向上のための二重袋や防蛾灯の設置などへの継続的支

援のほか、袋がけや防除作業など栽培管理作業の受託や耕作放棄地の解消、新規園地の開拓などを目的とした農業生産法人の設立を目指し、飯南地区桃生産販売部会とJAを中心に立ち上げた協議会へ積極的に参加し、早期法人化に向け協力していく。また、多様化する市場ニーズと変化する気象条件に合致した品種の選定や、栽培管理方法の見直しを関係機関連携のもと検証し、柔軟に対応できる体制づくりに取り組んでいきたい。



市の特産品の桃

高齢者の拠点づくり 今後の方針は

◎ 倉本議員 市民の協力で、いきいきサロンなど高齢者の地域の拠点づくりは進んでいるが、高齢化が進む中、新たな高齢者の拠点づくりが必要ではないか。

◎ 市長 本市としても、外出のきっかけやコミュニケーションの場となる高齢者の拠点づくりを進める必要があるとの認識に立ち、県の一人暮らし高齢者等対策事業補助金を活用し、本年度から、大手町、綾歌町、飯山町にある保健福祉センターで社会福祉協議会が運営主体となり、高齢者が気楽に立ち寄り、談笑できる場として、常設のサロンを開設する。しかし、サロンの開催日を気にすることなく立ち寄れる常設の居場所がもっと必要ではないかと考えており、今後、各コミュニティにコミュニティセンターでの場所の確保や運営などについて意見を聞いたうえで可能かどうかを検討したい。



交通事故多発

事故の分析・対策は

◎ 松浦議員 香川県内での人口10万人当たりの交通事故死者数は、全国ワースト1位である。そこで、市内での交通事故の分

析、対策について伺いたい。

◎ 生活環境部長 県内では、高齢者、交差点、夜間の事故が多く、死亡事故では、シートベルトの非着用や飲酒運転、横断歩道上での事故が多い。交通事故防止対策として、市民一人一人に交通安全意識の普及、浸透を図ることが重要である。市でも、市民に交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣付けてもらうため、交通対策協議会や警察と協力し、年齢に応じた交通安全教室を実施し、交通安全教育の充実を図っている。また、交通安全総点検や交通事故多発地点等の総合現地診断を実施し、学校や地域、市や警察、道路管理者と共に現場での道路上の問題を把握、分析し、道路環境の改善に努めている。

スマートシティで まちの発展を

◎ 片山議員 産業振興計画策定を機に、市のグランドデザインとしてスマートシティプロジェクトに取り組んではどうか。

◎ 産業文化部長 スマートシティプロジェクトは現在、政府や

日本経済団体連合会が先行して取り組んでいる。スマートシティプロジェクトのコンセプトは、将来のまちづくりにとって最適なものの一つだと思うが、同時に本市において地域の生活基盤全体の最適化を推し進めるには大きな構想でもある。本市としては、先進事例を常に注視するとともに、本市の産業振興やまちづくりに当たり、スマートシティプロジェクトのコンセプトを今後どのように関連づけることができるのか、情報収集に努めていきたい。

減災対策で

土器川堤防の強化を

◎ 福部議員 土器川流域の高柳橋から中方橋までの区間や丸亀大橋から下流の区間は、超過洪水による堤防の決壊のおそれが高い区間で、減災対策の必要があるが、堤防強化に対する市の考えは。

※スマートシティプロジェクト
エネルギー効率の向上、省資源化の徹底、市民のライフスタイルの転換などを複合的に組み合わせた環境配慮型のまちづくり